

2019年度 いばらき輝く教師塾(第1日)

期 日：9月21日(土)
会 場：茨城県教育研修センター

いばらき輝く教師塾開講式



開講式の様子

2019年度いばらき輝く教師塾は、288人の受講生を迎え、9月21日(土)に開講しました。

茨城県教育庁学校教育部長挨拶では、森作 宜民 学校教育部長から、「いばらき輝く教師塾の特徴は、ワークショップ型研修により、学生と現職教員が意見を交流しながらより実践的な学びができることです。いばらき輝く教師塾を通して、教員として大切な力である専門力と人間力を高めていただきたい。」と挨拶がありました。

茨城県教育委員会教育長講話



茨城県教育委員会教育長
柴原 宏一

教育長講話では、柴原 宏一 茨城県教育委員会教育長から、「人間の究極の4つの幸せは、人に愛されること、人に褒められること、人の役に立つこと、人から必要とされること。子ども達は、先生からの何気ない言葉かけを覚えている。子ども達は、先生から見守られていると感じることで安心感を持つことができる。全てを自分で何とかしようとするのではなく、コミュニケーション能力を磨いて、困ったときに助け合うことができるような人間関係づくりをしてほしい。」とお話がありました。

特別講演会

「社会人として教師として～未来を創るリーダーシップ～」



株式会社ヤマオコーポレーション
代表取締役 鬼澤 慎人 氏

特別講演会では、株式会社ヤマオコーポレーション 鬼澤 慎人 代表取締役から、「人が成長するには理解と気づきが大切。気づきの4つのステップは、考える、発信する、実践する、振り返ること。また、日本では察することが大切であり、おもてなしと信頼につながる。気づきを得る感性を育てるには、その人に興味・関心を持つこと。わずかな表情の変化にも気づくことができるように。リーダーシップとは、まず自分自身をリードすること。自立と自律につながる。」とお話がありました。

受講生のリフレクションシートより

特別講演会「社会人として教師として～未来を創るリーダーシップ～」の感想

- ・相手の気持ちを察して、先回りでき、自分の態度や言葉を自分で正すことのできる人間になりたいと思った。【学生】
- ・リーダーシップとは「自分をリードする」ことだと知り、一人の人間としてとても重要なことであると感じた。【学生】
- ・教員としての心構えのほか、人としての在り方を考えるきっかけとなった。【学生】
- ・数名のグループになりファシリテーターを中心に話し合いを行うことによって、自分の考えを深め、新たな気づきがあった。【若手教員】
- ・人の成長には「気づき」が大切であり、「気づき」を得る感性を育てるために、興味・関心を持つことが必要だと学んだ。【若手教員】

本日の感想

- ・教員の魅力、働きがいについて改めて考える機会となり、教育実習の経験と照らし合わせて考えることができた。【学生】
- ・子ども達に、先生が見ていてくれているという安心感を与えることが大切だと思った。【学生】
- ・同じ茨城の教員を目指す者どうしの交流の場とすることができ、学ぶことが多く貴重な経験となった。【学生】
- ・毎日の学校生活を通して、子ども達の成長を身近で感じながら、自分自身も成長できることが教員の魅力だと感じた。【学生】
- ・講義中にワークショップを行い、意見を交換することができた。今後も積極的に交流し、自ら学んでいきたい。【若手教員】